

水をば人のむべからずといへり略○中

藤代峠フジノ 京よりくまのへの順道也、眺望無雙の地なり略○中

由良の御崎 藤代にちかし、由良の戸とも云也略○中

若の浦 伊勢に同名有、藤代にちかし略○中

吹上の濱略○中 吹井の浦 和泉丹後に同名あり、吹上の濱にちかし略○中

岩代山 有馬の王子とて社あり略○中 鹽屋津 鹽屋の王子とて社あり略○中

三熊野略○中

岩田川 熊野海道に此川有之略○中

千種嶽 東屋の嶺略○中 糸鹿山略○中

音無川 音無の瀧同山同里 ひとつ所也、雄山といふ所にあり略○中

妹脊山 妹山脊山二ツを、一ツに云也略○中

妹が島 像見の浦 神島 磯間浦 結の浦 千尋の濱略○下

〔玉勝間丸〕紀の國の名どころども

待乳山マツチは、大和國の堺にて、紀の國伊都郡なり、角田川カクノは、待乳川のことなるべし、此川みなもとは、

葛城山のうちより出て、北隅田庄を流れて、きの川におつるなり、紀の關は、和泉國よりきの國の

名草郡にこゆる雄山に在て、南のふもとなる山口村にちかし、袖中抄に、雄山の關守とあり、白鳥

關といへるも、此關のことなるべし、名草山は、紀三井寺の山なり、飽等濱アトラは、海士郡賀田浦の南の

方に、田倉崎といふ所ある、是なりと、里人のいひ傳へたりとぞ、吹上濱は、若山の西南にて、若浦の

北なり、雄水門は今若山の内に湊といふ所に、小野町といふ有て、蛭子社ヒルコある、そこに雄之芝オノシとい

ふあり、五瀬命の薨まし、跡也といへり、小野町といふも、もと雄の町なりといへり、此蛭子社に